

<発表資料>

- 社史・アーカイブ総合研究所 - 編纂事務局は「縁の下での力持ち」

今回は編纂事務局（実務機関）の主な仕事について以下に記します（囲み参照）。

まず素案づくり。編纂事務局は素案となる企画や編集方針を作って編集委員会に提案したり、決裁を受けた事項について作業を進めたりします。特に、どのような目的で、どういう社史を作るのかという基本方針は重要です。社史に対する期待事項などについて、経営トップに最初にヒアリングしておくことが肝心です。

次に資料集め。資料整理の実作業は制作会社のアドバイスを受けるにしても、社外秘の書類なども対象になる社史の資料収集作業は社内で行わなければなりません。

3つ目は取材の手配。社内外を問わず、取材先への依頼は編纂事務局からすべきです。制作会社やライターから、取材依頼をしては受ける方は不安でしょうし、失礼にもなります。当日の立ち合いも、可能な限り行ってください。取材内容を知っていることは担当者として以後の作業に役立ちます。

編纂事務局の主な仕事

- ① 素案づくり
- ② 資料集め
- ③ 取材の手配
- ④ 制作会社との窓口
- ⑤ 原稿やデザイン、掲載写真に対する校正の意見調整

4つ目は制作会社との窓口。会社の要望を取りまとめ制作会社に提案や見積を求めたり、制作会社との合意に基づき社内調整をしたりします。

最後は原稿などに対する校正の意見調整。社内各部署に確認を依頼し、できるだけ予定期限内に回収し、納期に影響しないようにします。時には、修正指示が部署間で矛盾することもあります。その場合、調整や統一案作りも編纂事務局の仕事になります。

(本資料使用上の留意点について)

本資料は当社が独自に収集したデータを基に作成しております。その正確性と最新性の確保に努めていますが、完全性を保証するものではありません。調査、分析、統計処理等によってその都度データを更新する場合があります。当資料の内容に関するいかなる間違い、不掲載についても一切の責任を負うものではありません。資料に示したすべての内容は、当社の現時点での判断を示しているに過ぎません。利用に際しては御自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。その他、当資料の取り扱い事項は当研究所の会員規約に準じます。

(著作権について)

本資料は当社の著作物であり、著作権法により保護されております。
当社の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

- 組織情報 -



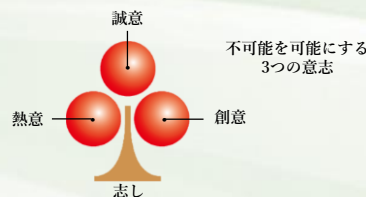
ビジネスのDNAを次世代に伝える
出版文化社

【代表者】
代表取締役社長 木戸清隆
【創立】
1984年2月6日
【資本金】
99,234,300円

【東京本部】
東京都中央区新川1-8-8
アクロス新川ビル4F
TEL：03-6823-6820（代）
【大阪本部】
大阪市中央区久太郎町3丁目4-30
船場グランドビル8F
TEL：06-4704-4700（代）
【名古屋支社】
名古屋市熱田区五本松町7-30
熱田メディアウイング3F
TEL：052-990-9090（代）

Learning Organization

豊富な実績を基に多様な社史・記念誌づくりを提案します。
編集は自社内で一貫して行っています。
専門家＝アーキビストが常駐しています。
品質管理、情報セキュリティのISOを取得している日本唯一の出版社です



-社史とアーカイブに関する日本初、唯一のシンクタンク-



社史・アーカイブ総合研究所

CORPORATE HISTORIES AND ARCHIVES RESEARCH INSTITUTE

社史・アーカイブ総合研究所は『社史・記念誌の有効活用と、ビジネス・アーカイブの普及への貢献』という大きな目標を掲げ、2019年に設立した専門研究機関です。社史とビジネス・アーカイブに関する情報の収集、コンテンツの企画と発信を行っています。

運営組織 社史・アーカイブ総合研究所
英文 Corporate Histories and Archives Research Institute
代表者 小谷允志
設立 2019年10月1日
研究員数 10名（東京6名・大阪4名）